

編集後記

昨年の第九回日本医史学会総会(一九九八年五月一六日)において、松木明知会長の斬新な企画のもとに二つのシンポジウムが開催された。その一つを司会された寺畑喜朔氏は、折角の発言をこのまま埋もらせるのは忍びないとの発想から文字として後世に残すことを提案された。そのさい、この問題にたいする会員の提言も収録したいとの意図のもとに、ひろく会員の声をもとめたところ、多くの会員からその声もたらされた。

その後横浜でおこなわれた九月例会(一九九八年九月二六日)において、日本学術会議医史医学研究連絡委員会との共催でミニ・シンポジウムが開催されたおりにも同様なテーマが取りあげられたので、寺畑氏と協議を重ねた結果、それらを一括して編集委員会の手で編纂するとの方針がかたまり、ここに記録集をようやく発刊する運びとなった。

ここに収録したのは、二つのシンポジウムに参加された司会者とシンポジストの発言、および三〇名以上に及ぶ会員からの真摯な提言である。

発刊までにかくも長い歳月をついやしたことについては、いろいろの事情があったとはいえ松木総会会長や、司会を担当された寺畑氏や杉田氏、さらに貴重な提言をよせられたおおくの会員の方がたに深くお詫びしなければならない。

この発言集を手掛かりにして、医史料の蒐集と保存についてさらに活発な提言や活動が盛りあがることを期待している。

なお、横浜におけるミニ・シンポジウムには井出研氏(横浜市立大学医学部同窓会俱進会会長)が特別参加されたことを附記して、感謝の意を表する次第である。(深瀬 泰旦)

平成十一年十二月二十五日 印刷

平成十一年十二月三十日 発行

日本医史学雑誌 第四十五卷特集号

編集者 代表 深瀬泰旦

発行者 日本医史学会

〒二三八四三 東京都文京区本郷二丁目

順天堂大学医学部医史学研究室内

電話(〇三)三六三二五三

振替〇〇六〇一八二五五〇番

編集協力 医聖社 印刷 平河工業社